

# mon

01  
JAN.2016  
communication  
magazine



巻頭座談会

## 追手門学院での日々と これからの関わり

大塚高司[衆議院議員]／室井邦彦[参議院議員]  
中山泰秀[衆議院議員]／川原俊明[追手門学院 理事長・学院長]

追手門学院の歴史を振り返る

ここまで進んだ  
追手門学院の一貫教育

## 想いを一つに、“オール追手門”の実現に向けて

—『mon』の発行に伴う「追大の今を伝えるコミュニケーションマガジン『ai(安威)』」の発展的解消に寄せて—

追手門学院理事長・学院長 川原 俊明

この度、追手門学院のすべての卒業生に向けた情報誌「mon」を創刊することとなりました。幼小中高大を擁する総合学院である追手門学院には、非常に多くの卒業生がいらっしゃいます。これら卒業生の皆様のところをつなぎ、“オール追手門”として力を結集することが、学院のさらなる発展に必要な不可欠だと考えております。

そのために「独立自強・社会有為」という教育理念のもと、全学校園が一体となって推し進める教育改革をはじめ、追手門学院のさまざまな魅力や取り組みを知っていただき、もっと追手門学院を愛していただきたい。そして、追手門学院を愛する人たちのつながりを創りあげていきたい。そのような想いのもと、追手門学院の全学校園の魅力を発信する情報誌「mon」を創刊いたしました。

### 併設校・施設のご紹介

学校法人追手門学院はこども園から大学・大学院を有する総合学園です。それぞれの併設校および施設には多様な学びや研究を支える、充実した環境を整えています。



追手門学院大学・大学院  
〒567-8502  
大阪府茨木市西安威2-1-15



追手門学院大手前中・高等学校  
〒540-0008  
大阪府大阪市中央区大手前1-3-20



幼保連携型認定こども園  
追手門学院幼稚園  
〒560-0084  
大阪府豊中市新千里南町1-3-3



追手門学院中・高等学校  
〒567-0008  
大阪府茨木市西安威2-1-15



追手門学院小学校  
〒540-0008  
大阪府大阪市中央区大手前1-3-20



追手門学院  
大阪梅田サテライト  
〒530-0012  
大阪府大阪市北区芝田1-1-4  
阪急ターミナルビル16階



追手門学院大学  
地域文化創造機構 連携考房 童子  
〒567-0816  
大阪府茨木市永代町4-202  
阪急茨木市駅前「Socio-2」2階



追手門学院  
大阪城スクエア  
〒540-0008  
大阪府大阪市中央区大手前1-3-20

スローガン  
決定!

### 『現代未聞 追手門 —130年の伝統を革新の力に—』

2018年の追手門学院創立130周年に向けたスローガンを学内公募などを経て決定しました。

伝統に固執することなく、その時々子ども取り組んだことのない新しい教育に挑戦し続けてきた学院の姿。また、未来に向けて、これまでにない改革に取り組む学院の志と、それを支えるオール追手門構成員の決意を示した学院創立130周年スローガンが決定しました。

### 追手門学院 総合基金のお願い

追手門学院では2016年に大学創立50周年、2018年に学院創立130周年を迎えるにあたり、基金活動を行っています。基金は園児・児童・生徒・学生のための教育事業を行う財源となります。多くの関係者の皆様がこの基金活動に参加していただきますよう、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

募金方法 「追手門学院へのご支援をお考えの皆様へ」  
<http://www.otemon.jp/kifu/index.html>

振り込みのほかインターネットからもお申し込み可能です。

お問い合わせ先 / 追手門学院 総務室  
TEL: 072-641-7441 FAX: 072-641-7442  
E-mail: daigaku50@otemon.ac.jp

追手門学院公式  
メールマガジンを発行

毎月2回、追手門学院をはじめ大学校友会、校友会山桜会の最新情報・活動情報などをお伝えるメールマガジンを発行しています。皆さんのメールアドレスのご登録をお待ちしております。

登録はこちら  
<http://otemon.jp/otm-m/>



追手門学院とすべての卒業生をつなぐ、コミュニケーションマガジン mon [モン] 2016 Vol.1

学校法人  
追手門学院

発行：学校法人追手門学院 総務室 広報課 / 2016年1月  
〒567-0008 大阪府茨木市西安威2丁目1番15号 TEL: 072-641-9590 FAX: 072-641-9645  
<http://www.otemon.jp/>

※本誌掲載の情報はすべて本誌発行時のものになります。

追手門学院OBを代表して、現役国会議員のお三方にお集まりいただき、同じくOBである理事長を加えたスペシャル対談を企画しました。追手門時代の思い出、国政の場での活躍、追手門学院への期待と話題は尽きることなく、母校愛に満ちた熱い語らいの時間となりました。

国政に携わるOBの存在が後輩たちの刺激になれば

川原 追手門学院との関わりからうかがいます。中山議員は本学院と深いつながりをお持ちですね。

中山 戦後、学院がGHQに接収された時に、私の祖母、祖父が掛け合っ取り返したと聞いています。そんなご縁もあって、私も小学校94期としてお世話になりました。私たちの時は、「気をつけ」の姿勢はつま先60度、中指は体操服の縫い目に合わせる。竹刀を四つ合わせた棒でパチンとたたかれながら先生に厳しく叱っていた覚えがあります。今ではお叱りを受けるかもしれませんが、そういう厳しさの中で身につけた基礎をバネにして自由な発想で応用できたことが、今、役立っています。

## 川原 俊明

追手門学院理事長・学院長／追手門学院小中高卒業  
Toshiaki Kawahara



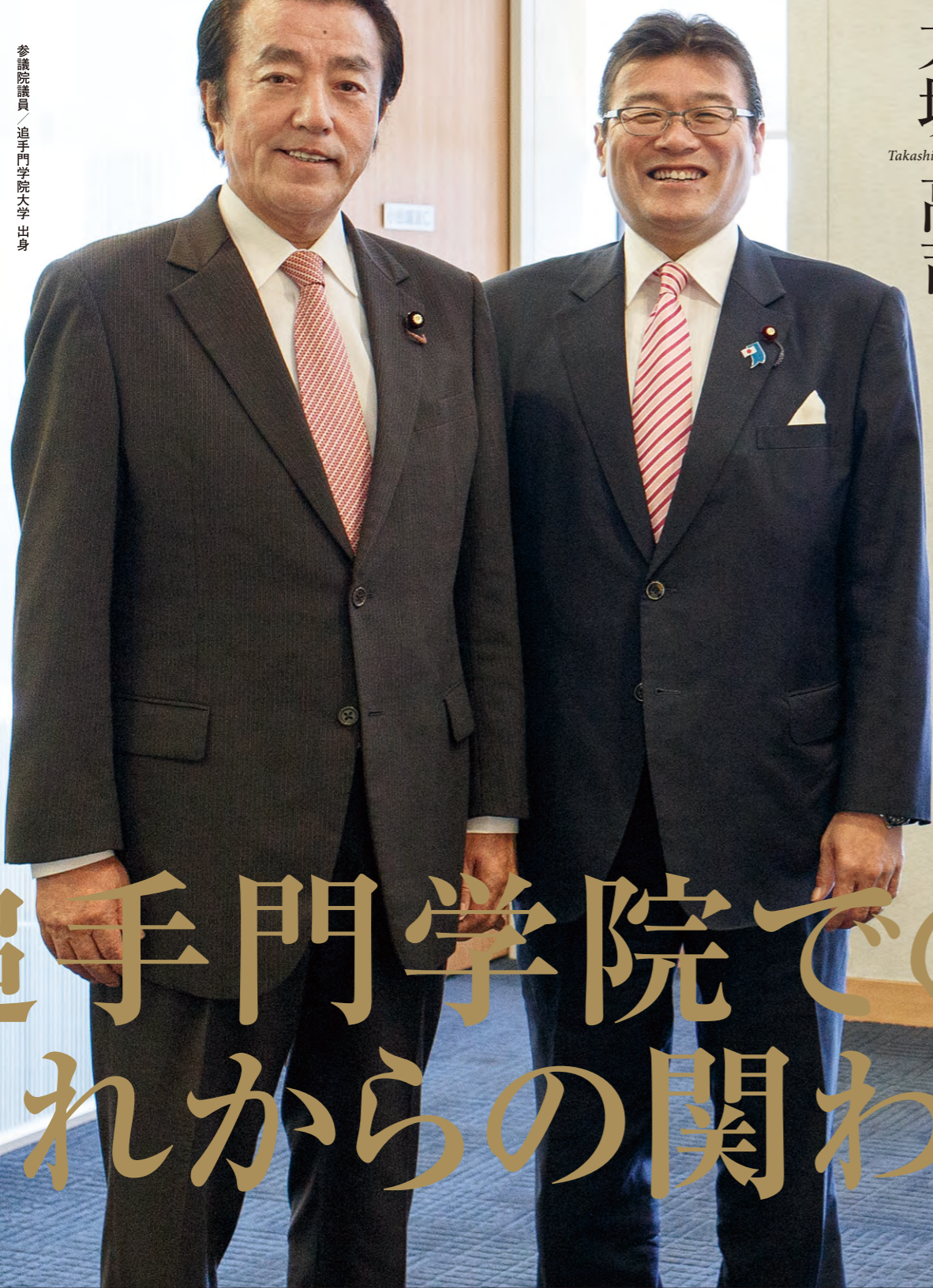
## 中山 泰秀

衆議院議員／追手門学院小学校第94期卒業生  
Yasuhide Nakayama



## 大塚 高司

衆議院議員／追手門学院大学第20期卒業生  
Takashi Otsuka



## 室井 邦彦

参議院議員／追手門学院大学出身  
Kunihiko Muroi



# 追手門学院での日々と これからの関わり

巻頭座談会

大塚 私は現在、大学校友会の理事をさせていただいています。少子高齢化が進み学生数が減ってくる中で、どうやって追手門学院が生き残っていくかということが、理事会の中でもよく議論されていますね。何か一つ、きらつと輝くものを持っている大学にしたいという意気込みを語り合っています。追大生が自信や誇りを持ち、それを胸に社会で頑張っていける環境づくりをめざし、一致団結して前進しているところです。

室井 私は大学の1期生です。父親は旧陸軍将校で、私のことにはあまり干渉しませんでした。が、大学進学については「邦彦、ここに行け」と譲らなかった。借行社(※)の流れをくむ学校ということで親父の憧れだったんでしょう。今は関係者の一人として、学院の将来、教育の方針には非常に期待しています。私は1983年に政界に入り、市会、県会、衆議院、参議院全国区と通り経験してきました。また、中山先生、大塚先生には、これから大臣、総理大臣へとなっていただきたい方々です。そんな先輩がいるなら、自分もというような刺激を与えたり、国の将来を語るような雰囲気をつくったりする面で、お役に立ちたいですね。

※追手門学院小学校の前身は旧陸軍将校の親睦団体である借行社が設立した大阪借行社附属小学校。



**川原** では、これからの追手門学院はどうあるべきだ、というご意見はありますか。

**室井** 几帳面、真面目は日本の国の財産です。たとえば、日本の高い安全基準。大臣政務官時代、イギリスは高速鉄道をつくるのに、同等の技術力を持つドイツやフランスを差し置いて日本の企業と契約しました。その決め手は安全基準の厳しさでした。日本が世界から認められる根底に、素直さや真面目さを育む教育があります。借行社以来の伝統的な教育を守っていくところが、他の私学にはない特長になると思います。

**川原** では改めて、追手門学院で学んだ思い出をお聞かせください。

**中山** 「京都佛立ミュージアム」という博物館で、GHQのカメラマンが撮った敗戦時の日本の写真を見ました。その中に、長崎の原子爆弾投下後に、11歳の少年が亡くなった弟を背負って焼き場に立ち、「気をつけ」をしている写真があります。親とも別れ大きな不安と闘いながら、弟を弔おうと焼き場まで裸足で歩いてきた。声をかけたら崩れてしまいそうなお少年が、自分に厳しく礼節を尽くしてひとり

**川原** では改めて、追手門学院で学んだ思い出をお聞かせください。

**中山** 国際教育をしっかりとやるべきだと思えます。もう一度、産業革命のような大きなレポリューションを起こしていかなければならない時代に、優位に立てる人材を輩出するのが追手門学院の使命。インフラが整った後は、人材に投資することが必要でしょう。卒業生でハーバードとかアイビーリーグを出たような先輩方がおられます。追手門学院が世界の大学ランキングに入っているような学校とアライアンスを組むなどの取り組みも面白いかもしれません。

**川原** スポーツ強化はどうでしょうか。スポーツによる人間育成の意義を重視し、教育的な面を強調しながら進めたいと思います。

**大塚** 私は体育会出身なので、女子のラグビー部が活躍しているのがうれしい。新聞の一面に出ましたが、スポーツでも追手門学院の名前が出るというのはなかなかいいことです。全国大会に行けば、学校が一つになつてクラブを応援しようという機運が高まる。そうして名を上げて、どんどん海外に発信できたらと思います。知名度といえば、時代に即した学部ができ、受験者数が急増したと東京でも噂ですよ。

**川原** 追手門学院大学の志願者数の前年比が全国トップになり全国二курсになりました。本当にうれしいことです。それでは最後に、追手門

## 「128年の伝統を守る教育こそ追手門学院の個性だ」

——— 室井邦彦 氏

## 「卒業生の力の結集が新しい追手門学院創造のテコになる」

——— 川原俊明



**かわはらとしあき** 追手門学院理事長・学院長。追手門学院小学校、追手門学院大手前中学校・高等学校を卒業。1970年に早稲田大学第一法学部を卒業。2002年に弁護士法人川原総合法律事務所を設立し、現在に至る。2011年に学校法人追手門学院理事長、2015年に追手門学院学院長に就任。



**むろいくにひこ** おおさか維新の会所属。参議院議員2期目。1966年兵庫県立尼崎高等学校を卒業後、追手門学院大学に入学。その後室井運輸株式会社を設立。尼崎市議会議員1期、兵庫県議会議員2期を経て、2003年第43回衆議院議員選挙で国政に転出し、2011年に国土交通大臣政務官に就任。現在は、おおさか維新の会参議院幹事長など。

学院の在校生、卒業生にメッセージをお願いします。先輩として、檄を飛ばしてください。

**中山** 塾や予備校に頼らず、授業だけで十分というような学校に、生徒自身が先生を巻き込んで作りあげてほしい。与えられるものだけでなく自分から与えてくださいと、進言するような生徒になってほしいと思います。

**大塚** 追手門学院といえばおとなしいと言われる、そんなことあるかいと、我々は反骨精神を発揮しました。外へ出向いて、いろんな人と会い、学生時代にしかできないことをしてください。とくに一生の仲間づくりはぜひやってもらいたい。また、これだけ人に負けない、誰にも譲れないものを見出してほしい。それが、自信と誇りにつながっていきます。

**室井** 勝ちよりも勝る負けあり、失敗を恐れるなど言いたいですね。付け加えるならば、大学まで来て教育を受けているなら、関西を引っ張るぐらいの存在になってほしい。東京に一極集中しているけれど、それを止めるのは大阪の力がかかっています。馬力を出しましょう。

**川原** 今日は、在校生、卒業生にも励みになる対談になりました。今後とも、在校生、卒業生をずっと見守ってほしいと思います。ありがとうございました。

**川原** 追手門学院出身者から総理大臣をという夢は現実に近づいているようです。お三方とも副大臣ないし大臣政務官を経験されていらっしゃるようですので、活躍ぶりをお聞かせください。

**中山** 記憶に新しいのは、外務副大臣として、ヨルダンでの17日間、IS-1という暴力的過激主義者たちとの交渉に臨んだことです。一般に想像する悪人の域を超えた人たちの交渉は非常に難しく、残念な結果に終わりました。インターネットが普及して距離や時間の概念が一変し、どこかの国の危機も遠い世界の話ではありません。こんな時代に大事なものは知性だけではなく、あいさつ、優しさ、情、共感といったパーソナリティ、人間力の高さです。

**川原** 大塚議員も政務官という大臣の補佐役を経験されました。

**大塚** 去年の暮れまで、国土交通大臣政務官と内閣府大臣政務官を兼務させていただきました。なかでもとくに東日本大震災復興対策の仕事で被災地に何度も足を運び、いろいろな方々のご要望もお聞きしました。現在は、国会対策副委員長をしています。今回の平和安全法制でも改めて感じたのですが、議論を尽くし法案をまとめる時、最後は政党ではなく人間関係がものを言います。今もお話に出ました人間力なんです。

**川原** 室井議員も野田内閣の時に国土交通省大臣政務官として活躍でした。

**室井** 三次にわたる内閣で大臣政務官を務めた中で、東南アジア諸国への中国、韓国の進出が、日本より一歩も二歩も速いのを実感しました。一方で、東南アジアの方には、就職先として日本企業がいいという思いがあるというのも聞きました。日本企業では話し方、行儀作法、トイレ掃除まで教育してくれ、心温まる経営だということです。外国で他国と競い合うグローバル時代、若い人には海外に出て国際感覚をもっと身につけてほしいと思います。

**人生に鮮やかな足跡を残す追手門学院で過ごした時間**

**川原** では改めて、追手門学院で学んだ思い出をお聞かせください。

**中山** 「京都佛立ミュージアム」という博物館で、GHQのカメラマンが撮った敗戦時の日本の写真を見ました。その中に、長崎の原子爆弾投下後に、11歳の少年が亡くなった弟を背負って焼き場に立ち、「気をつけ」をしている写真があります。親とも別れ大きな不安と闘いながら、弟を弔おうと焼き場まで裸足で歩いてきた。声をかけたら崩れてしまいそうなお少年が、自分に厳しく礼節を尽くしてひとり

## 巻頭座談会

## 夢と志を育てる、大切な時間。



**おおつかたかし** 自由民主党所属。国会対策委員会副委員長。1989年追手門学院大学経済学部卒業。参議院議員秘書や大阪府第8選挙区(豊中市)支部長を経て、2005年第44回衆議院議員総選挙にて政界入り。2014年に国土交通大臣政務官兼内閣府大臣政務官を経験。2015年国会対策委員会副委員長に就任。



**なかやますひで** 自由民主党所属。外務副大臣。1983年追手門学院小学校を卒業。高校時代3年間のフランス留学を経験。早稲田大学大学院修了。株式会社電通を経て、総務庁長官秘書官や建設大臣秘書官を経験。2007年外務大臣政務官を経て、2014年に外務副大臣に就任。2015年4月追手門学院大学客員教授に就任。現在に至る。

## 「借行社のDNAを受け継いで知恵のある逸材の育成を」

——— 中山泰秀 氏

## 「在生も卒業生も熱くなれる環境づくりが大切」

——— 大塚高司 氏

の人間として立っている。この「気をつけ」は、自分の習った「気をつけ」の姿勢と同じだと思えました。この少年の思いにはもちろん足元にも及びませんが、同じものを感じました。今の時代に、それを教えるのが追手門学院の使命ではないでしょうか。

**川原** 私は本学院小中高の卒業生ですが、小学校のしつけ教育で教え込まれた厳しさを礼節は自分のからだの中にしみこんでいます。

**大塚** 私は、どの時代にもどりたいかと聞かれれば、大学時代と答えます。体育会のバレーボール部で厳しい厳しい練習の合間に、スガのお好み焼き、サイダヤマナ、みんなキャンパス付近のお店ですけど、そういうところに行つて食べたらいね。死に物狂いで練習し、ライバル校に勝つた瞬間、そしてリーグ優勝したときは最高の喜びでした。その頃の仲間とはいまだに付き合ひ、これからも永遠の友です。

**室井** 私は1期生ですから、横で工事の音がうるさく校舎を建設している時でした。学生運動華やかなりし頃で、荒れている学生の暴動は学生で押えようというような正義感に血がたぎっていて、追大には絶対にそんな輩は入れないと思っていた。実際、追手門学院は学生運動とは無縁でしたが。

**川原** 私も同じ世代なので、そのころの状況はよくわかります。

Events 大学創立50周年を彩るイベントを開催

大学創立50周年記念式典

追手門学院大学では、2016年に創立50周年を迎えることを記念し、式典を開催します。会場は約1,500名収容可能な「グランフロント大阪 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター」です。当日は追大の第1期生であり、芥川賞作家でもある宮本輝氏をはじめ、来賓の方々によるスピーチや、追大生や教職員など、学院関係者が一丸となって取り組んでいる「ベートーヴェン交響曲第9番」の大合唱などを予定しています。

開催情報

- 開催日時/2016年5月29日(日) 13:30～
- 会場/グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター

大学卒業生で参加ご希望の方は、3月上旬発行予定の校友会報81号にて詳細をご確認ください。

大学創立50周年記念祝賀会

2016年に創立50周年を迎える追手門学院大学。当初、517名からスタートした在学生数も、今や6,500名を超えるまでに発展しました。これまでの50年を祝うとともに、次の100周年に向かってのスタートを切るために、校友会と大学により大祝賀会を催します。卒業生の皆様は、奮ってご参加ください。

開催情報

- 開催日時/2016年7月2日(土) 13:00～ ※受付開始12:30
- 会場/リーガロイヤルホテル大阪 (タワーウイング3階 光琳の間)

大学創立50周年記念事業

追手門学院大学では、創立50周年を記念し、50年間の歴史をまとめた「50年志」をはじめ、イメージソングや記念DVDなど、さまざまな事業を行っています。これらを通じて、皆様により一層、追大を理解し、愛着をもってもらえるように努めます。

■「50年志」 「トピックスで描く五十年小史」と「近二十年のあゆみ」と寄稿からなります。追大の歴史が約350ページに収められています。

■大学のイメージソング 追手門学院の卒業生である著名な作曲家、上田益氏が作詞・作曲を手がける大学のイメージソングです。

■50周年記念DVD 第1部は大学の歴史、第2部は「自分史上!想像以上!」の成長を遂げようとしている学生4名のドキュメンタリーをまとめたDVDです。

追手門ダンス表現フェスティバル

2015年9月19日(土)に、茨木市市民会館ユーアイホールにて、大学創立50周年記念「第2回追手門ダンス表現フェスティバル DANCE×OTEMON」を開催しました。当日は開演前に、約100名の中高生がフラッシュモブに挑戦。その後、第1部では15チームの中高生が、さまざまなジャンルのダンスを披露。第2部では追手門学院高校1年生とおやじダンサーズが共演、さらに世界的ダンサーである近藤良平さんによるパフォーマンスと続き、出演者、来場者合わせて800名のイベントとなりました。



6月から行われている「第9」練習会の様子



中高生によるフラッシュモブ

■問い合わせ/追手門学院 総務室 周年事業担当 TEL:072-641-7441

「第9」の練習風景やフラッシュモブの様子をYoutubeでご覧いただけます。



学院同窓会組織に関するお知らせ

ホームカミング・デー

追手門学院校友会では、卒業された同窓生の皆様が学部・学科や年代を超えて母校に集い、親睦を深めることを目的に「ホームカミング・デー」を開催しています。2015年は約400名の追大卒業生・教職員にご参加いただきました。母校の発展をご覧いただき、現職の教職員と交流することで、卒業生の皆様と大学との連携が一層強まるものと考えております。創立50周年という節目の年に、思い出深いキャンパスに集いましょう。ご参加お待ちしております。

開催情報

- 開催日/2016年11月6日(日)
- 会場/追手門学院大学
- 問い合わせ/追手門学院大学 校友会事務局 TEL:072-643-6135



2015年のホームカミング・デーの様子

山桜会100周年記念式典

山桜会100周年を記念して、式典・懇親会を開催します。通常同窓会は学年単位やクラス単位が多いですが、この度の記念式典・懇親会は先輩、後輩、先生方が一堂に集う大同窓会となります。懐かしい方々と旧交を温めるまたとない機会になりますので、卒業生の方は、ぜひともご参加ください。本件に関する詳細は、山桜会ホームページ(<http://yamazakurakai.com/>)をご覧ください。

開催情報

- 開催日時/2016年6月26日(日) 12:00～
- 会場/ホテルニューオータニ大阪(鳳凰の間)



大阪備行社の正門

History 追手門学院の歴史を振り返る

2018年、学校法人追手門学院は大きな節目を迎えます。

2016年、追手門学院大学は創立50周年、山桜会は100周年、さらに2018年には追手門学院は創立130周年という大きな節目を迎えます。それぞれの節目を記念し、式典や新キャンパス、新施設の開設など、さまざまな記念事業を予定しております。

- 1888 明治21年 「大阪備行社附属小学校」として創設 創設者 高島鞆之助
- 1947 昭和22年 追手門学院中学部を開校、男女共学校となる
- 1950 昭和25年 追手門学院高等学部を開校 学院歌制定
- 1966 昭和41年 追手門学院大学開学(経済学部、文学部)
- 1967 昭和42年 高等学部、大手前に一部残置し茨木校地に移転 同時に茨木校地に中学部を併設
- 1969 昭和44年 追手門学院幼稚園開園
- 1973 昭和48年 大学院に文学研究科を開設
- 1979 昭和54年 大学院に経済学研究科(修士課程)を設置
- 1980 昭和55年 大手前キャンパスの中学校・高等学校の名称を 追手門学院大手前中学校ならびに同大手前高等学校と変更する
- 1995 平成7年 大学に経営学部、人間学部設置
- 1999 平成11年 大学院経済学研究科に経営学専攻博士後期課程を設置
- 2000 平成12年 大学院経済学研究科に経済学専攻博士後期課程を増設
- 2006 平成18年 大学に心理学部、社会学部設置 大学院に経営学研究科設置
- 2007 平成19年 大学に国際教養学部設置
- 2008 平成20年 大学院に心理学研究科設置
- 2013 平成25年 おうてもんがくいんこども園を開園
- 2015 平成27年 大学に地域創造学部を設置 追手門学院幼稚園ならびにおうてもんがくいんこども園を 幼保連携型認定こども園へ移行し 園名を幼保連携型認定こども園追手門学院幼稚園に改称
- 2016 平成28年 追手門学院大学創立50周年 山桜会100周年
- 2018 平成30年 追手門学院創立130周年

学院志研究室への資料の寄贈・提供のお願い

学院志研究室では学院に関する資料を広く収集しています。創立者や学院関係者の諸資料、広報誌などの学内刊行物、教職員・学生・生徒の出版物、学生時代の写真、サークル関連資料、記念品、AV資料など、学院の歴史に関する資料があれば下記までご連絡ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

一貫連携教育機構 学院志研究室 / 田村 綾  
E-mail: archives-g@otemon.ac.jp  
TEL: 072-665-5062



# ここまで進んだ 追手門学院の一貫連携教育

こども園から大学・大学院までが連携する教育機関として



追手門学院理事長・学院長  
川原 俊明

「独立自強・社会有為」のもと  
全学校園がひとつに

1969年、追手門学院幼稚園の設立で、追手門学院は幼小中高大を擁する総合学園となりました。しかし、それぞれの学校園は大手前、茨木、豊中と校地が離れています。そのため接点がありません、同じ学校法人のもとにある併設校という意識も薄い時代が、長く続きました。そんな状態を打破する契機となったのが、2008年、追手門学院創立120周年で教育理念を再認識したことです。追手門学院理事長・川原俊明はその意義を次のように語ります。「私学の存在意義は、教育理念に基づいて個性あふれた教育を行うところにあります。追手門学院の教育理念は、『独立自強・社会有為』。これを改めて共有し、全学校園が一体となって教育を推進していくという、現在に続く体制が固まったのです」

「独立自強・社会有為」に込められた意味とは、礼節をわきまえて自己も他人も尊重する自由な精神と強い意志を持つ人の育成です。さらに、社会の発展に貢献し指導的役割を果たす人の育成でもあります。これを各学校園ごとに成長段階にあわせた読み替えを行い、徹底を図っています。

追手門のルーツを知り  
誇りと自信を育てる

こうして全学院を統一した教育体制が「一貫連携教育」としてスタートしました。その主軸となるのが自校教育です。「追手門とはどのような学校か、どのような歴史があって今があるのか。子どもたちにしっかりと教えることで、自校ひいては学生自身の誇りと自信を育てる。この誇りと自信が可能性開花の根源です。自校教育は能力開発のベースとなる重要な教育なのです」

一貫連携教育は  
これからの追手門を支える柱

2012年には、一貫連携教育機構という組織を立ち上げ、各校・園

「追手門UI論」では、発祥校である小学校へのバスツアーを実施

卒業生・保護者と力を合わせ  
さらなる発展をめざす

さらに、2014年に立ち上げた追手門学院教育振興会の存在も、一貫連携教育にとって重要な役割が期待されます。現在、幼小中高大の各PTAが加入し、小中高の同窓会である「山桜会」、追手門学院大学校友会、追手門学院大学卒業生保護者の会も加入の方向で検討中です。

「学院の発展に不可欠なのが、ステークホルダーの力を結集すること。追手門学院を愛してやまない人たちの力で、教育理念を具現化する『追手門人』をつくりたい。一貫連携教育は、これからの追手門学院を支える大きな柱です」

## 学校間の人事交流を通して 追手門への理解を深める

が連携して総合学園としての強みを発揮する教育のあり方を追求しています。自校教育については、大学の取り組みをより強化し、「追手門UI論」※という正課の授業として、追手門学院の歴史はもちろん、卒業生や職員、同じ大学で学ぶ学生が登場して追手門学院への思いや活躍ぶりを話すなど、キャリア教育や人間教育にもつながる充実した内容で展開しています。

※UI: University Identity Strategy

「一貫連携教育のなかでも『今後さらに広げていきたい』と川原理事長が話すのは、各学校園の人事交流です。活発な人事異動によって互いの教育のいいところを強化して、双方が力をつけていくことが目的です。教員免許の関係で当面は茨木、大手前、両中高の間の異動が中心ですが、今後は小学校と中高間の人事交流も進めたい考えです。」

「学生を教える立場にある者が総合学園としての理解を深めることはとても重要です。そのため、人事交流のほか、自校教育を徹底したり、意見交換会や懇親会をするなど交流の機会を増やしたりしています」



幼稚園児が大学のキャンパスを訪問。大学生の「お兄ちゃん」先生は人気者



「追手門UI論」では、発祥校である小学校へのバスツアーを実施



両併設の高校生が大学生と一緒に授業を受ける「APシステム」。大学入学後、受講高校生には最大で16単位が認定される

## 一貫連携教育に 関わる取り組み



大手前中・高のロボットサイエンス部員が小学校でロボット講座を開講



人工芝のグラウンドにて、大学と中・高女子ラグビー部の合同練習



幼稚園の希望者が小学校の大きなプールを使って、のびのびと水遊びを体験



海での訓練の指導補助として、小学校の臨海学舎に大学生が助教として参加



2015年、幼保連携型認定こども園へ移行し、園名を幼保連携型認定こども園追手門学院幼稚園に改称(豊中市)

メディア掲載一覧

追手門学院  
小学校

追手門学院小学校の授業や学校生活について紹介

メディア ABC朝日放送「キャスト」 放送日: 2015年5月25日(月)～29日(金)

2015年5月25日(月)～29日(金)の5回にわたり、番組内の「ばすてる」というコーナーで、追手門学院小学校の授業風景や学校生活の様子、児童の将来の夢などが紹介されました。

追手門学院  
大学

追大女子ラグビー部の磯貝さん・福島さん・後藤監督が出演

メディア NHK総合「学校再発見バラエティー あはやねん!すきやねん!」 放送日: 2015年9月5日(土)

「ぶらば〜キャンパス」のコーナーで追大女子ラグビー部について紹介。さらにU20日本代表に選ばれた磯貝美加紗さん、福島わさなさん、後藤翔太監督がスタジオに出演しました。

追手門学院  
中・高等学校

追手門学院高等学校の新崎麻未さんを紹介

メディア 毎日放送「もうひとつの花園〜目指せ、世界!ラグビー女子のひと夏〜」 放送日: 2015年8月12日(水)

もう一つの花園と呼ばれる合同チームによるラグビー大会「KOBELCO CUP 2015」を紹介する番組内で、追手門学院高等学校の新崎麻未さん(2年生)が紹介されました。

追手門学院  
中高等学校

山内一輝さんのゴルフ日本ジュニア選手権の成績が掲載

メディア 西日本新聞・スポーツ報知 掲載日: 2015年8月22日(土)

埼玉県霞ヶ関カントリー倶楽部で開催された、ゴルフの日本ジュニア選手権12-14歳の部に出場した、追手門学院大手前中学校の山内一輝さん(3年生)の最終成績が掲載されました。

追手門学院  
大学

追大と和歌山県田辺市が連携協力協定を締結

メディア 読売新聞 掲載日: 2015年10月1日(木) / 毎日新聞 掲載日: 2015年10月3日(土)

追大と和歌山県田辺市が2015年9月30日(水)に連携協力協定を締結したこと、今後世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」などでのフィールドワークを行うことなどが紹介されました。

追手門学院  
大学

「笑い」を学間に「笑学研究所」を設立

メディア 読売新聞・朝日新聞・日経新聞・京都新聞 掲載日: 2015年10月9日(金)

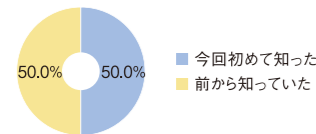
追大が、大阪を代表する文化である「笑い」を学問として追求する「笑学研究所」を設立。顧問に大学卒業生で通天閣観光(株)社長の西上雅章氏が就任。2015年10月8日(木)に記者会見を行ったことが掲載されました。

アンケート結果

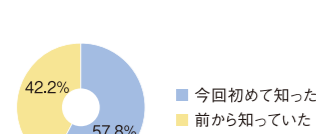
- 調査方法: インターネットリサーチ
- 実施期間: 2015年10月14日(水)～2015年11月15日(日)
- 回答者数: 64名

追手門学院大学卒業生の皆様に、大学広報についてのアンケートを実施しました。その結果の一部をご報告いたします。

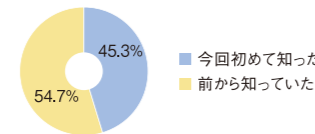
Q1 追手門学院大学では公式フェイスブックやツイッターを開設していますがご存じですか?



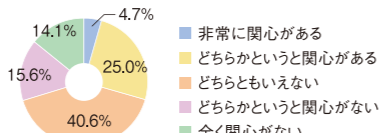
Q2 追手門学院が2018年に創立130周年を迎えることをご存じですか?



Q3 追手門学院大学は、サッカー Jリーグのガンバ大阪とパートナーシップ協定を結んでいます。このことをご存じですか?



Q4 2016年度入試より「追手門ファミリー入試」を新設しました。この入試についてどのように感じになりましたか。



04 … 追手門学院小学校



追手門学院小学校の運動場の人工芝化・屋上理科園が完成

追手門学院小学校の運動場人工芝化および屋上理科園の完成を記念して、2015年9月1日(火)に竣工式を執り行いました。人工芝は雨の影響を受けにくく、児童たちが鮮やかな緑いっぱいの中、安全に楽しむことができます。また、運動場に隣接していた理科園を屋上に移設し、小学校としては珍しい屋上理科園が誕生。「手押しポンプ」や「日時計」を設置することで、児童の理科への興味をかき立て、学びや遊びを発見できる空間を提供します。

08 … 追手門学院



高島鞆之助先生 没後百年記念墓参会を開催

2015年10月24日(土)、追手門学院創立130周年記念事業の一環として、高島鞆之助先生没後百年記念墓参会を開催しました。当日は学院理事や評議員のほか、教育後援会など各団体の代表者、校友会東京支部や東京山桜会の会員総勢50人が参加。墓所では乃木神社の神職による「高島鞆之助大人命百年祭」が行われました。墓参のあとは上智大学内の旧高島邸も訪問。高島先生の偉業を知り、追手門学院の絆をそれぞれが感じる1日となりました。

03 … 追手門学院



追手門学院大阪城スクエア 貸出事業を終了

追手門学院大阪城スクエアは2008年、追手門学院創立120周年記念事業の一環として設立。地域社会と学院との連携活動をめざし、貸出事業をスタートしました。これまで産官学連携など社会連携活動の拠点として利用いただいておりますが、地域における一定の役割を終えたと考え、2016年3月31日(木)をもって一般貸出事業を終了します。今後につきましては追手門学院大手前中学・高等学校の教育活動を中心に活用する予定です。

07 … 追手門学院大学



「茨木童子、京都に還る! 京都凱旋狂言会」を開催

大学創立50周年記念事業として2015年10月12日(月・祝)夜、京都市の金剛能楽堂にて狂言会を開催しました。その中で、茨木市のシンボルキャラクター「茨木童子」を題材に、追大と狂言大蔵流茂山千五郎家、茨木市文化振興財団が連携して練り上げた新作狂言「茨木童子」も上演。追手門学院の各校卒業生を含む約380人の観客から大きな拍手が送られました。狂言には地元の子どもたちも出演。伝統芸能の奥深さに子どもたちの愛らしさが加わり、満員の会場を沸かせました。

02 … 追手門学院大手前中・高等学校



World Robot Olympiad (WRO) 世界大会で7位入賞!

追手門学院大手前中・高等学校のロボットサイエンス部が、小中高生を対象とした世界規模のロボットコンテストWorld Robot Olympiad (WRO) に参戦し、地区予選を勝ち上がり全国大会へ出場しました。とくに中学オープン部に出場したチームが健闘し、全国で2チームのみが選ばれる優秀賞を獲得。2015年11月6日(金)～8日(日)にカタールのドーハで開催された世界大会に日本代表として挑み、全47チーム中7位入賞という快挙を成し遂げました。

06 … 追手門学院大学



卒業生顕彰コーナーに 通天閣観光(株)の西上雅章氏が登場

追大5号館の地下1階にある卒業生顕彰コーナーに、第5期生の西上雅章氏が登場しました。西上氏は通天閣観光株式会社の代表取締役であり、追大客員教授と、2015年10月に設立した笑学研究所の特別顧問も務められています。通天閣といえば「ブリケン」さんということで、顕彰コーナーの写真は「ブリケン」さんとの2ショットとなりました。

01 … 追手門学院大学



笑学研究所設立記念 シンポジウムを開催

追大では創立50周年記念事業の一環として、2015年10月1日(木)に、大阪の代表的な文化である「笑い」について研究する笑学研究所を設立。2015年11月26日(木)に設立記念シンポジウム「笑う門には福来たる一笑いと知の融合をめざして」を開催しました。当日は日本笑い学会理事であり東京大学名誉教授の尾上圭介氏による基調講演のほか、追大客員教授のロザンの二人を交えてのディスカッションなども実施。会場は笑いに包まれました。

05 … 追手門学院大学



第49回将軍山ミスコンテストで 弘田風沙さんが優勝!

2015年11月1日(日)～11月3日(火)まで開催した第49回将軍山祭で、将軍山祭ミスコンテストを実施しました。ミスコンテストを行うのは今年が初めて。今年は合計8人の女子学生がエントリーしました。2015年10月28日(水)までウェブサイト上で学生による投票を募り、2015年11月2日(月)の本選では出場者によるパフォーマンスも行われました。投票の結果、大手前中高63期生で、経営学部マーケティング学科の弘田風沙(ひろたなぎさ)さん(1年)が見事優勝に輝きました。